

やもめ*と不正な裁判官

ルカによる福音書 18:1-8 の再話、祈りについての教訓



イスラエルのある町に、人に対して情けを持たないことで知られた裁判官がいました。裁判官の仕事は、人々の
かかえる問題を聞き、何らかの解決策をとることでした。けれども、この裁判官は神をおそれず、庶民の
必要など気にも留めませんでした。

さて、そこに貧しいやもめがいました。夫に先立たれ、子供たちをかかえて一人ぼっちになってしまったのです。

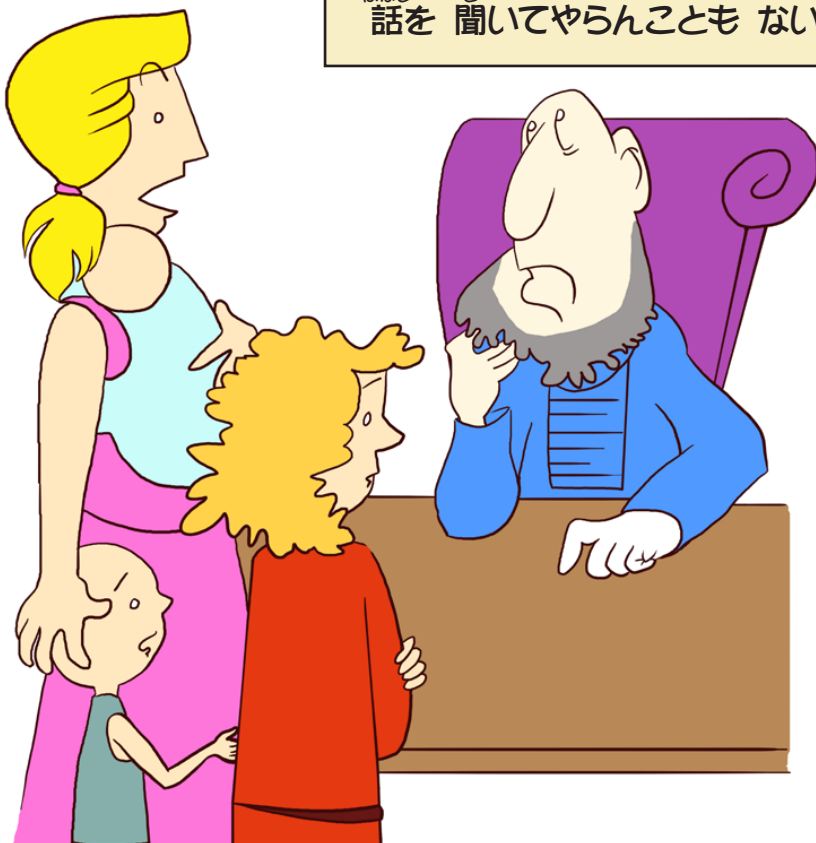
*やもめとは、夫のいない女性や、夫を失った女性のことです。

ある日のこと、やもめが 裁判官のもとへ 来ました。彼女の 家族に いろいろと めんどろを かける 人が いるので、相談に 来たのです。

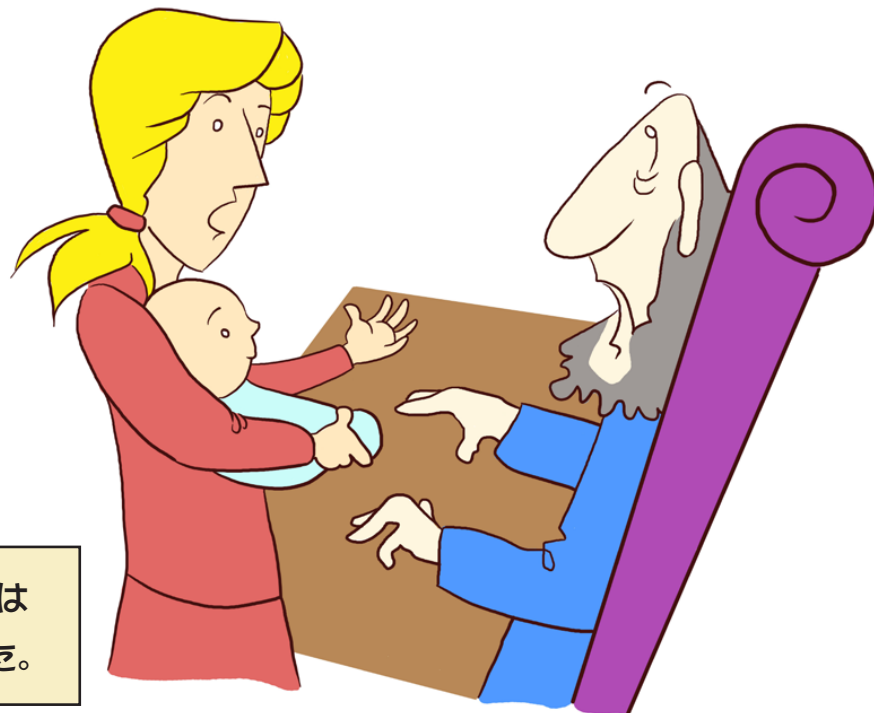
「住む 家が なくなってしまうのでは ないかと 心配です。わたしたちには もう、家が 残って いないのに!」と、やもめは 言いました。

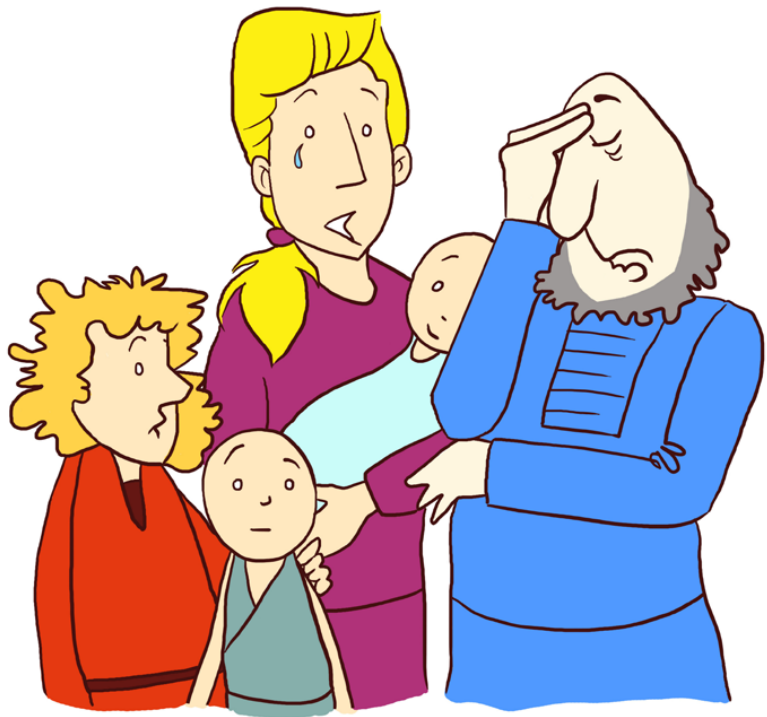
年老いた 裁判官は、しがめつ面を しました。(フン! 問題を かかえた やもめなど、うんざりだわい。わたしには、ここに 座って やもめの 話を 聞くよりも 大事な 仕事があるのじゃ。)

裁判官は ぶつくさ 言いました。「おん、わしが いそがしいのが 見えんのか! あんたの つまらぬ 問題など、 聞いている ヒマは ないんじゃ。帰らなされ。もし 問題が 続くようなら、そのうち、いそがしい 台間を めって 話を 聞いてやらんことも ないかもしれんが。まあ、当てに しない ことだ。さっさと 帰らなさい!」

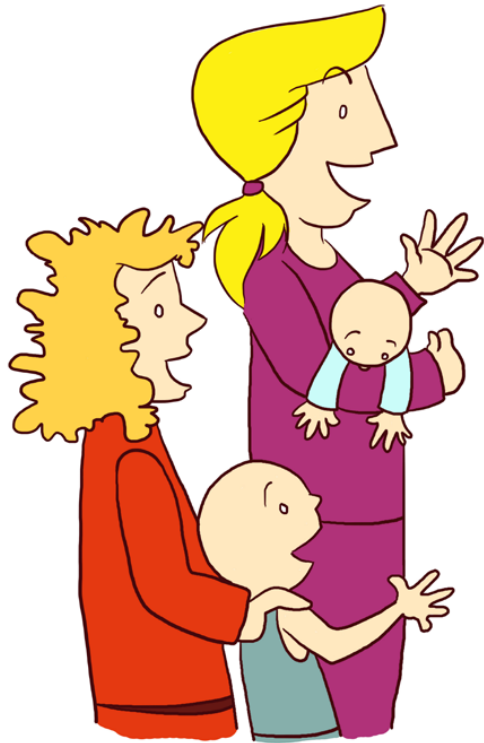


けれども、やもめは あきらめませんでした。





やもめは ^{なんど} 何度も ^{なんど} 何度も ^{さいばんがん} 裁判官の ^き ところに ^き 来ては、^{つづ} うたえ続けました。
 そして ^{さいばんがん} とうとう、裁判官も ^{なん} 何とか ^{おも} しようと思っただのです。



(わしは ^{おんな} この女に ^お 起こっている
 ことなんて、^{かんしん} 関心も ^{なに} ないが、もし ^{なんど} 何も
 しないで ^{おんな} いるなら、この女は ^{なんど} 何度でも
 もどって ^き 来て、わしを ^な なやますに
 ちがいない!) ^{おも} そう ^{さいばんがん} 思った ^お 裁判官は、
^{かのじょ} 彼女に ^{もんだい} 問題を ^お 起こす ^{ひと} 人たちが
 これ以上 ^{いじょう} 問題を ^お 起こせないように、
 やもめの ^{はんけつ} ために ^{くだ} なる ^{くだ} 判決を ^{くだ} 下しました。

イエス様が ^{ものごと} この ^{はな} 物語を ^お 話し終えると、^{てし} 弟子たちに ^{ふせい} たずねました。「この ^{ふせい} 不正な
^{さいばんがん} 裁判官の ^い 言っている ^き ことを ^き 聞いたか? もし ^{ふせい} 不正な ^{さいばんがん} 裁判官でも、^{かみ} やもめが
 うるさくて ^{りゆう} かなわないからという ^{りゆう} 理由だけで ^{かみ} そこまで ^{かみ} するなら、まして ^{かみ} 神は、
 ご自身の ^{じしん} 子供たちの ^{こども} さけび声に ^{こえ} 耳を ^{みみ} かけて ^{みみ} くださらないだろうか?
 言うておくが、^い 神は、^{かみ} 子供たちの ^{こども} ために ^{ただ} 正しい ^{ただ} 裁きを ^{さば} して ^{さば} くださるだろう。」

かみさま
神様は、そのような つめ むじょう さいばんがん
冷たく 無情な 裁判官とは
まったく ちがひ、わたしたちの いの せつ
祈りに 答え、必要な
ものを あた ねが ねが ねが ねが
与えたいと 願っておられます。かみさま
神様が
こた せつ
答えを もたらすのに、いつがい
1回だけではなく、
いの せつ
もっと 祈らなければ ならない 物事も あります。
かみさま せつ
ですから、神様が 答えてくださるまで、神様の
あいじょうが せつ
愛情深い 世話を 信頼し続けることが 大切です。

かなら
また、必ずしも わたしたちが いの せつ
祈りで 切に
もと つつ せつ
求め続けた 形で 神様が 答えを もたらして
くださるとは 限らないと 理解しておくことも、
たいせつ
大切です。わたしたちが のぞ せつ
望んだ 形ではなく、
かた せつ
ちがった 形で 神様が 答えてくださったとしても、
かみさま せつ
神様が 公明正大な 愛情あふれる 父であることに
か せつ
変わりはないことを おも せつ
思い出して、元気を
だ せつ
出しましょう。神様は、さいぜん
最善で あると ご存じの
ほうほう せつ
方法で、ご自身の み心に 沿って、ご自身の
たいせつ
タイミングに 答えてくださるのですから。

寄稿：クリスティ・S・リンチ、TFI 出版物の編集

絵：エスター・マーティン デザイン：ステファン・ミーラー

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2014 年、
ファミリーインターナショナル

“The Widow & the Unjust Judge” --Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 子供のための聖書物語、たとえ話、祈り

